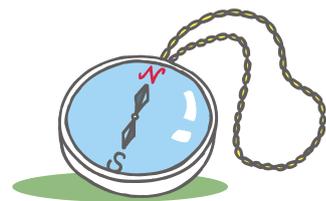


# 羅 針 盤



第 19 号

令和2年（2020年）9月14日（月）

## ◆ 「今」を大切に過ごすこと！

86, 400秒。これは、全ての人に平等に与えられている一日の時間を、秒に換算して表したものです。誰もが自由に使うことができます。上手に使っても、また、ほったらかしにしておいても、どんどん減っていき、一日が終わるとゼロになります。上手く使いきれなかったとしても、翌日に持ち越すことはできません。上手く使いきれなかった時間も、自動的に消されてしまいます。貸し借りをすることもできません。日常生活で使っている「お金」は、どんどん減っていったとしても、働くことで、稼いで取り戻すことができます。しかしながら、86, 400秒という一日に与えられている「時間」は、有意義に使いきることができなければ、二度と戻ってくることはありません。「時は金なり」という言葉を、皆さんは知っているでしょうか。成功してきた人たちの共通点は、誰もが「時間」というものの大切さをよく理解していて、無駄な時間の過ごし方を減らしてきたということです。「時間」を大切にすれば、行動が変わり、生活が変わり、そして、生き方といったものまで変化していきます。「時間」は待ってくれることはありません。しっかりと時間を管理する意識を自分自身で持つことによって、行動や生活が変わっていくのです。昨日の86, 400秒は、もう過ぎ去ってしまい、戻ってくることはありません。明日の86, 400秒は、まだあなたのものとはなっていません。「今」というこの瞬間が、君たち一人ひとりに与えられた「時間」という「贈り物」なのです。だからこそ、英語では「今（現在）」をプレゼント（present）と言います。「時間」を有効に使うことを日頃から心掛けて、明日へとつながっていく最大限のものをつくりだしてもらいたいと思います。

## ◆ 「視る」と「聴く」

「みる」という言葉は、発音が同じでも漢字では、「見る」、観察の「観る」、視力の「視る」等があります。「視る」には自然に目に入るというよりも、積極的にじっと目をとめてみるという意味があり、本質を見通そうとする姿勢を表しています。ただ漫然と「見る」だけではわからないことが「視る意識」をもつことで理解が深まります。また、「きく」という言葉も、発音が同じ漢字では、「聞く」や、聴力の「聴く」等があります。「聴く」には物事を理解しようと進んで耳を傾けるという意味があり、話の内容を理解しようとする意識が必要となります。言葉を通じて、人と人とが互いに理解し合って、コミュニケーションを深めていくためには、「視る」と「聴く」ことがとても重要です。『目は視るもの、耳は聴くもの』という言葉の本質的な意味は、「視る」目を肥やして、「聴く」耳を持つようになることの大切さを問いかけていると思います。日常生活でのコミュニケーション能力を高めていくことは、これからの社会で「生きる力」として、とても重要なことです。日頃から、「視る」と「聴く」を意識して行動できる人に成長してくれることを期待しています。

